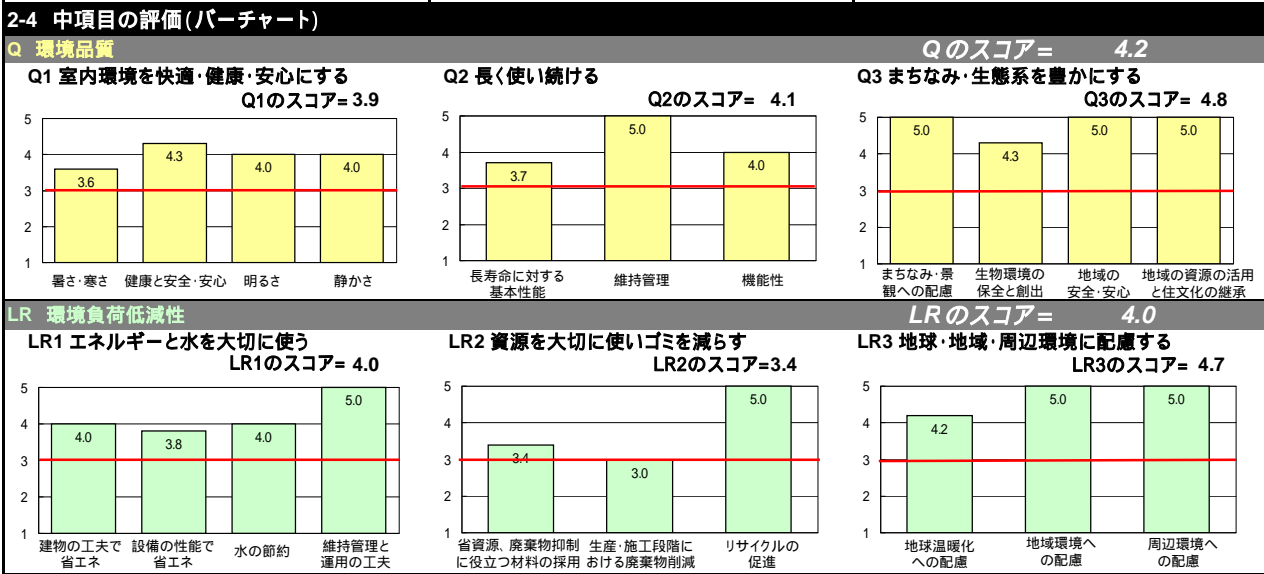
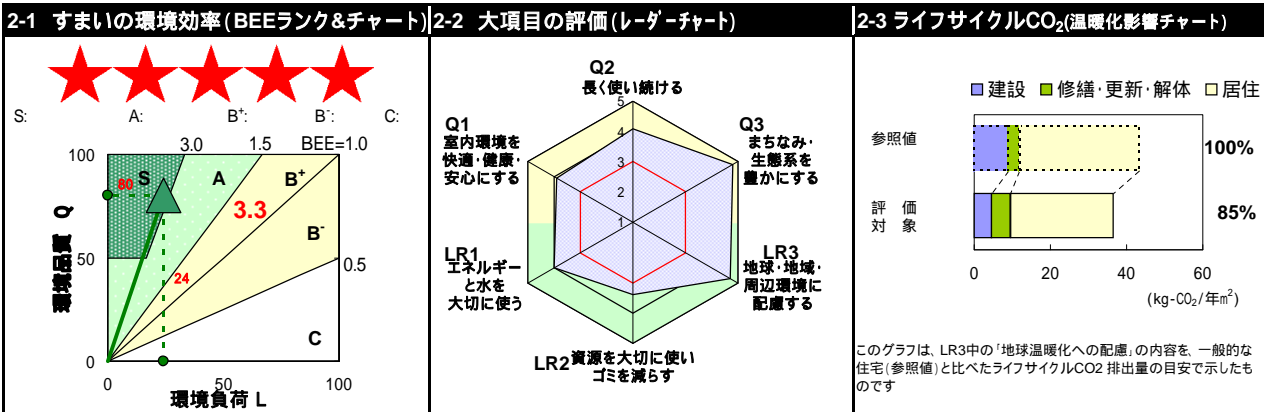


CASBEETM すまい[戸建] 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-すまい(戸建)(2007年版) 使用評価ソフト: ASBEE-H(DH)_2007(v1.0)

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	高田邸		仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2008年1月	予定		持ち込み家電等	一部確定
建設地	千葉県千葉市緑区越智町			外構の仕様	確定
用途地域	調整区域	確定		<備考>	
省エネルギー地域区分					
構造・工法	木造・在来工法	確定	評価の実施日	2007年11月4日	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
階数	地上1F		作成者	中村 真也	
敷地面積	682 m ²	確定	確認日	2007年11月10日	
建築面積	72 m ²	確定	確認者	中村 真也	
延床面積	72 m ²	確定			
世帯人数	4	確定			



3 設計上の配慮事項		
<p>総合 ちば里山のゆけ-ジョク 千葉市緑区越智町に、平屋建ての植樹にかこまれた理想的な敷地環境に、地産地消 ちば山杉の板倉造りにOMY-ラーを搭載し地球・地域環境の設計に充分配慮し、施主の造園家と共に自然環境にも充分配慮できている。</p>		<p>その他 このちば里山にある、ちば山杉板倉造りのOMY-ラーの住まいを、環境効率の高い住いのモデルとして認知されることを望む。</p>
<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする ちば山杉の板倉造りの、オール無垢材仕上の室内環境への配慮と、構造的強固さ、OMY-ラー採用による太陽熱利用による省エネルギーと大量換気による健康空間の実現</p>	<p>Q2 長く使い続ける ちば山 杉4寸柱、土台はちば山檜4寸 基礎断熱工法にOMY-ラーによる床下乾燥空間の実現による高耐久な構造体の実現。外装は、杉の板張り、屋根はガルバリウム鋼板容易に張り替えを計画していく。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする ちばの里山の景観・生態系を乱さない配慮と敷地内造園植栽による豊かな試みをする・近隣の荒れた山や休耕中の田んぼ畑を借りて近隣にも手を入れたと日々思う施主であります</p>
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う OMY-ラー搭載(太陽熱利用空気式床下蓄熱低溫輻射暖房+大量換気)による、自然エネルギー利用は言うまでも無く、雨水利用、温度測定などで、自然エネルギーを意識、維持管理にアドバースできる。</p>	<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす ちば山材を外装など極力使用し、産廃資材を排除していく。</p>	<p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する ちば里山のなか、地球・地域環境を敷地条件の恵まれたなか造園とも一体となって、周囲も含め守っていく見本となりたい。造園植栽に郷土樹を使用するのは施主造園家のポリシーでもある。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
Q: Quality (すまいの環境品質), **L:** Load (すまいの環境負荷), **LR:** Load Reduction (すまいの環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (すまいの環境効率)
 CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEEすまい(戸建)の場合、BEE、Q、LR、などとするべきであるが、本シート上では簡略化のためHを省略した
 「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q、2、LR、1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「ライフサイクルCO₂計算シート」を参照されたい